

平市（定興一名）目下立候補の決定しているのは我輩議員も武之助氏で対抗馬はなく独走の公算が強い。前田関内派から立候補した佐藤源重氏は選挙間隙に至つて市会から県会議員に切り換え、準備全く整つてゐるに立候補し、然も故崎木成三郎氏と藤崎久太郎氏の市役選挙に巻き込まれて非常な不利な立場に置かれたため、惜しくも一敗地にまみれた。今年は当然選挙戦を行つべきであるが健康上から立候補を断念、目下話合ひによつてゐる人々に永山勇吉、大嶺昭、多田井英次郎の三氏が居る。永山、大嶺両氏は固辭して受けず

惡質な事前運動に備へ
檢察當局は黒表を作る

市町村の首長と町会議員、市町村協議会の選挙期日は、自主市庁に於て研究中であるが、前回通り四月に行ふ事には間違ひなく、市町村の首長と町会議員は四月三十日頃市町村協議会の選挙は冬少すして四月二十日頃になるものと見られてゐるが、何回にも選挙を行つてを避けて市町村長と町会議員、市町村協議会の三つの選挙と一括を行つてしまふといふ意見もあつて選挙期日は決定的でない。何れにしても、町会議員の選挙と市町村に於て協同には三つの地方選挙を行つてになるものと見て、概算から年始めにかゝり、旧正月などを利用して事前運動が盛んに行われるものと、検査局は、その方に眼を光らせ、立候補した際のマニフェストを作つて置く、模倣である。

赤津氏
を除き
九縣議揃つて
出馬

新人七八名割込戦

野田井市議は、廣度嶺留の形であるから、同志、結束如何に依つては、局部の三面方に大別出来るが、現議員九名のうち、病氣中の赤津庄兵衛氏を除き八名全部出属するものと見られてゐる。

安全圏は二三名

新人の出馬に依つてもつとも太

議員現

【自由党】赤津庄兵衛（氏と赤津県議に代つて勿来町の板本浅次郎氏が確定的といわれている、北郡からは川前村長におまづつた永山忠三氏が村長を辞めて起つことを表示したほか、中部方面で前回の補欠選挙で敗れた内郷市議鈴木喜政氏が起意を明かにしている、社会党は補欠選挙で敗れ、県会から議席を失つたので慎重を期しているが、右派では常盤労働の書記長高萩邦男と植田町議小山田勇の両氏を公認することに決定左派は好間村の古河茂敏労組長本間政男氏が警城市の奨励会田亮氏のうちから一名を選任することになるが）、民主党は改進黨から籍を移した大井山正吉氏ただ一人で、目下のところこの場に出上っている候補者はいない、共産党は内郷市の石城自由労働協議会の委員長藤田計氏が公認される模様である。

【自由党】赤津庄兵衛（氏と赤津県議に代つて勿来町の板本浅次郎氏が確定的といわれている、北郡からは川前村長におまづつた永山忠三氏が村長を辞めて起つことを表示したほか、中部方面で前回の補欠選挙で敗れた内郷市議鈴木喜政氏が起意を明かにしている、社会党は補欠選挙で敗れ、県会から議席を失つたので慎重を期しているが、右派では常盤労働の書記長高萩邦男と植田町議小山田勇の両氏を公認することに決定左派は好間村の古河茂敏労組長本間政男氏が警城市の奨励会田亮氏のうちから一名を選任することになるが）、民主党は改進黨から籍を移した大井山正吉氏ただ一人で、目下のところこの場に出上っている候補者はいない、共産党は内郷市の石城自由労働協議会の委員長藤田計氏が公認される模様である。

【社会党】なし

【民主系】大井山正吉（常盤）定貴九名のうち民主党有一名あるものの残りの八名全部が自由党に所属し、炭鉱地帯において大地盤社会党ならぬ県会議員も出ている、是は最初右派田畑金氏（勿来）が当選して議席を有していたが、同氏は参議院議員に当選して当選後の補選選挙で自民党の大田森之助氏が当選した結果、社会党は一名の議員も有さない事になった。新の綱振れば決定的設備に至っていないが、自由党で南部方面から柏田町の町会藤野賢治（野縣一）（磐城）沢田源次（田人）植田英次郎（四倉）星友太郎（錦）大平正次（常盤）木田泰之助（平）

【自由党】赤津庄兵衛（氏と赤津県議に代つて勿来町の板本浅次郎氏が確定的といわれている、北郡からは川前村長におまづつた永山忠三氏が村長を辞めて起つことを表示したほか、中部方面で前回の補欠選挙で敗れた内郷市議鈴木喜政氏が起意を明かにしている、社会党は補欠選挙で敗れ、県会から議席を失つたので慎重を期しているが、右派では常盤労働の書記長高萩邦男と植田町議小山田勇の両氏を公認することに決定左派は好間村の古河茂敏労組長本間政男氏が警城市の奨励会田亮氏のうちから一名を選任することになるが）、民主党は改進黨から籍を移した大井山正吉氏ただ一人で、目下のところこの場に出上っている候補者はいない、共産党は内郷市の石城自由労働協議会の委員長藤田計氏が公認される模様である。

す、南部の殆ど全部からも総割して来るから混戦は免れない、比較的利益利と見られるのは右派社会党より推される高萩氏一人で他は何れも絶対安全は保障し難いようである、高萩氏は右社の大地盤から田畑氏に代つて公認された唐り、補欠選挙では保守派に敗れたが今回の改選では常盤労働を背負って不敗の陣を布いている、現議員で比較的弱くといわれる木田氏は前回の選挙で次の二票目を落選し、補欠選挙では僅々と勝選しているが、補選選得等派と社会党の決戦があつたら補選の勢は当に不利にならない、植田、大平兩県議の取組な歩みをしているが、改選の際臨に起つる際にとつては、新々補選興色のあき

A black and white photograph showing a person from a high angle, kneeling in a field. The person is wearing a wide-brimmed hat and a shirt with horizontal stripes. They are holding a long-handled tool, possibly a hoe or a shovel, and appear to be working in the soil. The field is filled with various plants, including some tall, thin stalks in the foreground and some leafy plants to the right. The background is a mix of grass and soil.

御題 泉 若水をくむ

これに代つて坂本浅次郎氏が出ることを確定的であり、植田議長は幾度か氏は補欠選挙の際に出馬を希望しながら公断決定から断れられ、以来各地に後援会など作つて準備を進めていたから新入候補では強い方である、同じ植田町から小山田明氏も出ることと決定した、党派的には社会党ではあるが地盤的に見て前回とは赤津、豊、沢田の三氏が出さぬと見て、今回は赤津氏が退新たに三宅起三、結局も追加することになったから腹背に敵を受ける豊友太郎氏もこの選挙で強く沢田源次氏も案断を許さない、悪く行くとも倒れの色陰性がある、北部から永山忠一氏が出る、この影響は連合、植田町氏であるが、選出氏は中央から出る鈴木喜正氏とダブル面が多いので打撃がもっと大きいようである、中央部は強り候補者がもっとも多く、小野、大平、木田、大井川の保派議員四氏に加えて新人鈴木一、社会党高橋氏、共産党の本間など七候補が数えられ、常陸常陸地区と片浜海岸地帯と芳大地盤を自負して相接近した北郷地区は論を俟た

内派の総幹佐藤三三氏を絶たし、郷市に於ける同派の絶対支援を受ける約束のようであるから、内郷市の地盤では何人か入る地ないまでに固めようといふ意図がある、出身地の夏井を始戦を進め、出身地の夏井を始故人と成つた鈴木喜三郎氏の弟子だけに中部、北部を専し相當の散票をかき集めることになつ、小野明稟氏は、新地に依る選挙たつたら縣城市のみで案な戦ひが出来るのだが旧地域に依るので必ずしも案を得ない、前回は一万票を占得て第三位を奏勝している、ら縣城市で有力候補が出ない限り選出は確実であらう、民党の大井川氏は同党タダ一人、選挙区は確実である、候補であり、當時これ選挙連合といふ行き方で奮闘おさおさしているが、前回は最下位で選んでいるが仲々侮り難い

七万二千

郡下の有権者

県議員、町村長、同議員の選挙区を石城地方事務所と調した、二十日現在の郡内（市を除く）選挙有権者は男三万七千七百七十七名、女三万七千七百七十七名、男三万七千七百七十七名、女三万七千七百七十七名

なつた

謹賀新年 昭和乙未

株式 会社
丸一材木店

長滝 □ 豊

平高等洋裁學院

院長 山崎啓哲
外職 員 一同
平市二丁目角電二三六

常磐商事株式會社

取締役社長 鈴木 勇
平市三丁目四一電二八九〇

屋

平市田町並木通の
電話三二三番

千葉タイヤ商會

葉計二
平市新川町電七八

三日まで
福引大賣出し

新譜

亦加亦

平 三
龍 2 0 3

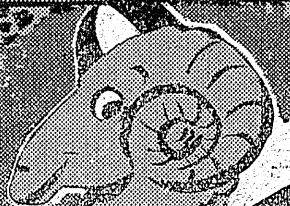
羊頭を掲げて
素晴らし羊肉を
羊の新年お目出度う御座います。見切り
品や安物を扱わず、藤城の今年の行き方
は昨年と同じくあくまで堅い品で押し通
して参ります。何卒お取引の程を。

手袋 一五〇円 一五〇〇円
靴下 一〇〇円 一六〇〇円
肌着 一六〇円 一四〇〇円
セーター 四四〇円 二四〇〇円

藤城
越前

藤越

平|小
市|名
|浜



王位 帝

競輪

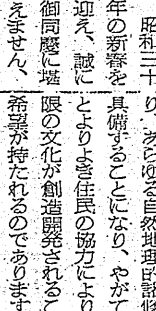
場外

福島市 山形市 盛岡市 秋田県

第10期

1 2 3 4 14 15 16

平市長 諸橋久太郎



商・業者の最も苦痛として居るのは資金の融資である。製産品並に物資を中央を初め他地方に発送する以前は三万位の約手であつたが近頃は大概四万位以上である銀行は三月以上貸割をしない加文不渡が続出する。中商・業者の窮迫は一層深刻を加ふる計りである。

當郷地区は、昭和五年市は一町三カ村を合併して大立市となり内郷常盤、磐城市に地続きの四市が發生し、一方當郷地区は獨逸關東地区に指定され將來は全國的發達有望の地域である。夫れには郷土が一致協力人の和が大切である。先中央派の新政府に向つて賄賂價値の安定を基本政策とせし、果には中小業者の融資政策を一層強化しむる政策を要する。四市並行して町村協力を以て當郷地区の振興を企圖せられたいことを熱望したい。

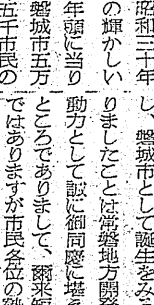
神戸牛肉専門

會社名
綠屋牛豚肉問屋

大塚駒太郎
本店 平市一丁目電五三九
支店 平市中央通電七九四

皇するに至つたのであります。については各方面から重視され朝
間私が町政に対する一年生と待たれている次第であります。

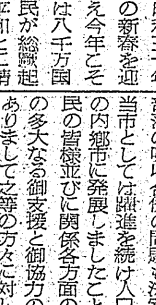
磐城市長 立花秀吉



昭和三十年
の輝かしい
年頭に当り
磐城市五万
五千市民の
各位と共に目出度い新嘗を壽ぎたいと願ひます。省みれば昨年は豊

い、磐城市として誕生をみるに至りましたことは、常磐地方開発の原動力として誠に御同慶に堪えないところであります。爾來短期間ではあります。が市民各位の熱意と協力により、著々強固なる基礎が形成され、國連、豪漢都市として活

内郷市長 沼田一夫



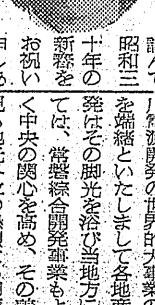
昭和三十年
の新春を迎
え今年こそ
は八千万関
民が総戦中
に日本の再建と世界の平和にと精
進すべき年であると信ずるもので
あります

部署の吸収合併の問題も決定を見
当市としては駒進を続け人口四万
の内の郷市に発展しましたことは市
民の皆様に並びに関係各方面の方
々の多大なる御支援と御協力のおかげ
でありましてこの次第の方々に対し深く
感謝しております等々であります

年には離散地方の発展を期す
べく、

を究め総合開発の一環として石屋
を中心とする大盤工業を計画し連
かに当地住民をして石炭産業不振
に伴う経済的、社会的不安から暗
けせし生活意欲を失墜せし失業者
及び生活困難者などの憐れな人々
の多い明い市を今より今後伸ば
行く大内郡の発展の起るべき日を

常磐市長 矢吹莊司



読んで
 昭和三
 十年の
 新春を
 お祝い
 申しあ
 一昨年



願ひますれば、

川俣源開発の世界的大企業の設立を端緒としたとして各地産業開拓はその脚光を浴び当地方においては、當該綜合開発事業もさうや中央の関心を高め、その奮闘、現も地元各位の熱烈なる御支援御協力によりまして現在明るい展望なければならぬ」とは容易に想像せられるところであります。その計画完成の時に當該當地は東北の玄関、東北産業の雄々たる前途まさに洋々たるものであります。

に致しまして公布されました町
村合併促進法は本県においても県
当局の熱心なる指導のもとに各方

進しつゝますことは、県民各位、県市民各位の正々發展と御多幸を
と共にまことに御同慶に堪えないお祈り申しあげまして新年の賀敬
とここであります。開発事業実現といたします。

謹賀新年

京
雲
文
子
集

市川パン店

市川祐男
平市中矢通電 九三六
平市大通り電 一八二六
平市旧城跡電 二一七〇

謹賀新年



寿百貨店 電 656
1764

平驛前

平市田町
創業の井
賽輪為吉
レストラン
サニー

常磐交通自動車株式會社

[illegible]

恭賀新年



初賣に放つ桁はずれ大奉仕
御愛顧に応え新春に放つ第一弾として
恒例二日・三日はケタはずれの特別御
値段にて全商品に御礼心をかけ奉仕さ
せていたゞきます

衣料品のデパート

鈴木 藤

鈴木藤太郎 従業員一同



今年も
あなたの傑作を!

カメラのデパート

平嶺前店電1860 • 平三丁目店電576 • 湯本店電308

明けまして
お芽出と
ございませ

★商品券御利用下さいませ

三新

賀正 3月8日

2日まで

(封切三本立)

妻絶と優艶の黄金
娯楽巨篇 東宝映園

嵐寛壽郎 上田吉二郎
杉山昌三九 中川晴彦
大河内傳次郎 長門裕之

封切三本立

初姿丑松格子

日活 映画

島田正吾 島崎雪子 阪田柳太郎 石山健二郎
秋月正夫 宮城千賀子 千秋実 河野秋武
瀧沢修 新国映出賣

やんちゃ娘行状記

東宝 映画

青山京子 雷田明 柳家金語楼 トニー谷

根本健一

古川緑波

宝塚歌劇團出演

新東寶の

明治紅灯悲話 田崎潤

木暮實千代 北上彌太郎

北原三枝入社第一回
主演日活明朗戀愛篇

初恋

有田総 原千景

明治一代女

女人の館

ワル川

民劇

大80 学60 小50

